

建設住宅性能評価に関する変更等の申告書

株式会社 都市居住評価センター 殿

申請者又は申請代理者の名称：

氏名：

1. 住宅の名称：

2. 設計住宅性能評価書 交付番号：

3. (建設住宅性能評価) 申請受付番号：

項目	変更前	変更後
建設住宅性能評価申請書の内容変更時記入例		
1 申請者・建築主	虎ノ門開発株式会社 取締役社長 幸福 太郎	虎ノ門開発株式会社 代表取締役社長 幸福 次郎
2 工事監理者・代理者	株式会社フジ一級建築士事務所 富士 一男	株式会社フジ一級建築士事務所 山梨 太郎
代理者を変更する場合、新たに委任状が必要です	一級建築士大臣登録 第123456号	一級建築士大臣登録 第234567号
3 工事施工者	トラ建設株式会社 東京建築支店 東京建築支店長 堅実 孝治	トラ建設株式会社 東京建築支店 東京建築支店長 港 三郎
建設住宅性能評価書のみ内容変更時記入例		
1 光視環境に関すること	単純開口率、開口比率 の変更 住戸1014 : 単純開口率32%、北面42%	単純開口率、開口比率、 住戸1014 : 単純開口率31%、北面39%
2 建築面積	3,528.65㎡	3,539.11㎡
3 延床面積	23,205.64㎡	23,162.92㎡
4 火災時の安全に関すること(脱出対策)	避難ハッチの変更 617号室: 避難ハッチあり	617号室: 避難ハッチなし
5 躯体天井高の変更	躯体天井高: 2850 (201・204・301・303・401・403)	躯体天井高: 2750 (201・204・301・303・401・403)

※設計評価時の設計図書よりの部分的な工事の変更で、容易に評価基準との照合ができる場合は、変更設計申請を行わずとも、この「変更等の申告書」の提出により建設評価書にて変更することが出来る。

設計評価時点からの変更一覧表

軽微変更処理された日付、図面番号等記入

評価機関(UHEC)の記入欄です
この欄には記入しないでください

住宅の名称:〇〇新築工事

年月日	変更事項	変更内容	資料	評価者記入欄
2012年5月14日	1.構造の安定に関すること 検査日(報告日)を記入	変更内容の概略を記入する。 基本的には、確認の変更処理の項目に合わせる。 BY2通りBX1-BX2間の基礎梁のレベルをFL-200に修正しました。	H24.4.26 軽微な変更説明書 S-5-8	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写し受領
2012年5月14日	1.構造の安定に関すること 評価項目について記入	S-3-1、S-4-1、S-5-10、S-8-1 F13Aの形状を修正しました。 該当する図面番号をここに記入してもよい (図面多い時)	H24.4.26 軽微な変更説明書	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写し受領
2012年5月14日	1.構造の安定に関すること	S-4-3~7、S-5-6 AX7-2000通りとAX7+2000通りにスリットを追記しました。	H24.4.26 軽微な変更説明書	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写し受領
2012年7月5日	1.構造の安定に関すること	耐震壁の開口部を73.5X77.5→81X76cmに訂正しました。	H24.6.19 軽微な変更説明書 S-5-5	変更の判定結果、提出資料等記入される 評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写し受領
2012年7月5日	1.構造の安定に関すること	変更内容は、前回のリストに追加して記入する その上で、検査回(報告日)毎に太線で区切る 自走駐 1階床スラブのうち「S1K」のスラブ厚を「t=150」→「t=200」に訂正。	H24.6.19 軽微な変更説明書 A-参-S-23	評価書記載事項、等級に変更無し (評価対象外の建物)
2012年9月20日	7.光視環境に関すること	メニュープラン対応による間仕切り、室面積の変更(1~5階)	メニュープラン パンフレット 光視計算シート	評価書記載事項、等級に変更無し (単純開口率、方位別開口比に変更無し) 後日確認出来た際、記入される
2012年9月20日	2.火災時の安全に関すること	メニュープラン採用による感知器の設置位置変更(1-5階)	施工図 増減書	評価書記載事項、等級に変更無し 変更内容の判定について、追加検討が必要な場合記入される
2012年9月20日	6.空気環境に関すること	浴室換気乾燥機モデルチェンジによる機種変更(TYK920G⇒TYB213G)	仕様書	評価書記載事項、等級に変更無し 選定風量の変更→換気計算書→11/8確認済 変更設計に該当することが記載される
2012年9月20日	4.維持管理・更新への配慮に関すること	95Bタイプ(2階~9階)躯体天井高さの最も低い部分変更 梁下高さが2080 → 2030 (構造設計図書に変更無し)	施工図	評価書記載事項の変更(変更設計に該当) →1/20変更設計処理を確認 変更設計された場合は変更申告書不要となる
2012年11月8日	5.温熱環境に関すること	【仕様基準】 外気に接する床、2階床下スラブ面以外の梁側・底の断熱仕様を変更。 押出法ポリスチレンフォーム保温板3種bt=30 → 現場発砲吹付ウレタンフォーム(λ=0.034) t=35へ変更 熱抵抗値 1.03 ≥ 1.0(基準値)	断熱範囲図 A-15~16	評価書記載事項、等級に変更無し
2012年11月8日	5.温熱環境に関すること	【性能基準】 E棟801号室、W棟829号室の屋根断熱変更 ・A種押出法ポリスチレンフォーム保温板3種の厚を、60mm→50mmに変更 ●801号室のQ値 (変更前)2.64 →(変更後)2.68 ●829号室のQ値 (変更前)2.57 →(変更後)2.61	断熱範囲図 D-115~116 Q-μ値計算書	評価書記載事項、等級に変更無し

12	2012年11月8日	7.光視環境に関すること	メニュープラン対応による間仕切り・室面積及び、サッシ寸法の変更(2~9階)	メニュープラン パンフレット 開口部計算シート	83Aタイプの方位別開口比が変更(他は変更無し) 評価書記載内容の変更(変更設計の対象) →2/20変更申告書受領	変更設計に該当することが記載される
13	2012年11月8日	4.維持管理・更新への配慮に関すること	1階ロビーの排水立主管の掃除口を下部ピット内の掃除口付き脚部継手に変更(これに伴い、壁点検口を中止)	排水系統図 P-3-2	評価書記載事項、等級に変更無し	後日処理結果を記載 建設評価のみ変更の場合は変更 申告書を提出する
14	2012年11月8日	基本事項 監理者の変更	変更前 一級建築士 大臣登録 第〇〇〇〇〇号 〇〇 〇〇 変更後 一級建築士 大臣登録 第△△△△△号 △△ △△	H24.11.7 記載事項変更届 変更申告書	評価書記載事項の変更 変更申告書受領	確認の変更処理後の結果 について、提出を求められる
15	2012年12月20日	1.構造の安定	耐震壁の開口部を73.5X77.5→81X76cmに訂正しました。	確認機関との打合せ記録 変更図	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写の写しを提出要 →2/20軽微変更処理内容を確認	
16	2012年12月20日	1.構造の安定	EVオーバーヘッドレベル変更	確認機関との打合せ記録 変更図	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写の写しを提出要 →2/20軽微変更処理内容を確認	
17	2013年2月20日	基本事項 建物名称の変更	変更前 〇〇〇ハウス新築工事 変更後 〇〇〇ハウス	変更申告書	評価書記載事項の変更 変更申告書受領	確認変更処理の結果が確認されたことが記載される
18	2013年2月20日	基本事項 建物名称所在地の変更	変更前 埼玉県志木市〇町〇〇番1の一部 変更後 埼玉県志木市〇町〇〇番1	変更申告書	評価書記載事項の変更 変更申告書受領	建設評価書のみ変更。変更申告書受領と指摘欄に結果が記入される(13番の項目)
19	2013年2月20日	7.光視環境に関すること	83Aタイプ(201、301、401、501、601、701、801,901)開口率変更 単純開口率 21% → 22% 方位別開口比 北面 40% → 37% 南面 55% → 58%	変更申告書	評価書記載事項の変更 変更申告書受領	変更となる住戸番号及び夫々の変更前後の開口率を記入
20	2013年2月20日	7.光視環境に関すること	メニュープラン採用による間仕切り位置、室面積の変更	H25.1.30 軽微変更説明書 開口部計算シート	評価書記載事項、等級に変更無し (単純開口率、方位別開口比に変更無し)	
21	2013年2月20日	2.火災時の安全に関すること	メニュープラン採用による感知器の設置位置変更(1-9階)	施工図 増減表	評価書記載事項、等級に変更無し	
22	2013年2月20日	1.構造の安定	各所耐震壁の開口部を変更。	H25.1.30 軽微な変更説明書	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写し受領	
23	2013年2月20日	1.構造の安定	EVオーバーヘッドレベル変更	H25.1.30 軽微な変更説明書	評価書記載事項、等級に変更無し 軽微変更処理写し受領	
24						確認の変更処理が正式に行われたことを再度正式に報告する。(16番の項目)